

取扱説明書

この度は弊社製品をお買い求めいただきましてありがとうございます。ご使用前に本書(取扱説明書)をよく読み、製品を安全にお使いください。

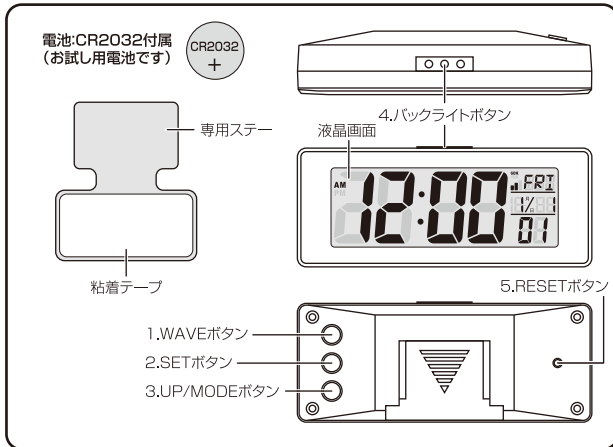
※この取扱説明書については、予告なしに変更することがあります。
※製品改良のため、予告なく外觀または仕様の一部を変更することがあります。

はじめに

安全にご使用いただくために

- 本製品をご使用いただく際は、走行前に予め本体がしっかりと車に取り付けられているかをご確認の上、お使い願います。
- 以下の警告・注意をお読みの上、正しくご使用ください。警告・注意に従わない場合など、誤ったご使用をされた際の事故、故障、破損などにつきましては、当社では一切その責任、保証は負いかねます。

セット内容 各部名称/設定ボタン説明



-1-

開封と内容物の確認

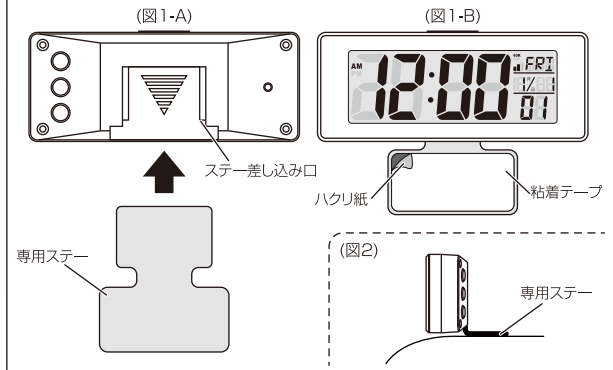
■「セット内容」を参考に内容物の確認をお願いします。

取り付けに関する注意

- 必ず車を安全な場所に停車してから、本製品の取り付けを行ってください。
- 本製品の取り付け、ご使用が困難な場合、または運転の妨げやエアバッグ作動時に影響がないように取り付けてください。無理に取り付けますと事故や故障、破損の原因になります。
- 10℃以下の低温時には十分な接着力が得られない場合がありますので、低温時を避けてお取り付けください。また、真夏の炎天下等取り付け場所が高温になっている場合も接着力が得られない場合があります。

取り付け方法

- 専用ステーを本体表面の差込み部に差し込んでください。(図1-A)
 - 粘着テープ面を液晶画面の方に向けて差し込んでください。
 - 取り付け位置を決め液晶表示が見やすい角度にステーを曲げて調節してください。(図2)
 - 本体取り付け場所の汚れを中性洗剤等を用いて落としてください。
 - ステーに付いている粘着テープのハクリ紙を剥がしてしっかりと貼り付けてください。(図1-B)
- ※貼り付け後24時間は、粘着力が完全に発揮されていませんので本体に強い力をかけないでください。また、貼り直しは粘着力が低下しますのでお避けください。
- 長時間炎天下へ駐車される際は、本体を取り外して保管してください。



-3-

- 1.標準電波の自動受信・受信周波数を切り替える際に使用します。
- 2.手動時刻設定時に使用します。
- 3.手動時刻設定時、また「12H/24H」の切り替え時に使用します。
※時刻設定では表示を1ずつ増加させるのに使用します。また、連続して押し続けると表示も連動して増加します。
- 4.バックライトを点灯させる際に使用します。(約5秒間点灯します。)
- 5.メモリをリセットします。

お取り付け・ご使用前に必ずお読みください

警告

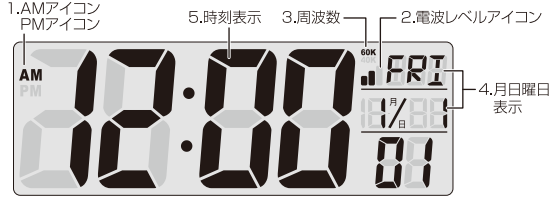
- 本製品の取り付け、ご使用が困難な場合、または、運転の妨げになる場合は無理に取り付けたりしないでください。事故や故障、破損の原因になります。
- エアバッグ作動時に影響がないように取り付けてください。
- 走行中の運転者による本製品の操作は交通事故の原因になりますので、おやめください。
- 本製品の分解、改造などは絶対にしないでください。本製品の故障、破損、感電、ショートの原因になります。

注意

- 屋内・地下駐車場やビルの谷間、電波塔など強い電波の発生源の近く等では、電波が受信できない場合があります。
- 走行中は電波の受信が困難で、初期設定時では正確な時刻情報を得る事ができない場合があります。その際には、車を停車した状態で受信するようにしてください。
- 布生地、革(合成皮革含む)、曲面などのきつい場所には取り付けしないでください。
- 車種や取り付け場所によっては、本製品を取り外した製、取り付け部分が多少変色したり、日焼けによる取り付け跡が残る場合がございます。予めご了承ください。
- 落としたり、叩いたり、強い衝撃を加えないでください。本製品及び車両への傷、破損の原因になります。
- 極端な高温または、低温の状況下では、液晶画面が黒くなり表示が見えなくなる場合がございますが、故障ではありません。常温になりますと液晶表示は元に戻ります。
- 静電気により液晶に黒点が出る場合があります。液晶の特性であり不良ではありませんので時間が経つと正常な表示に戻ります。
- 本製品は車内専用です。車外や雨・水のかかる可能性のある所には取り付けしないでください。
- 電池寿命はバックライトを1日3回使用で約300日ですが、付属の電池は出荷時から付属されているお試用で、300日経たないうちに電池が切れる場合があります。また、電池が切れると、時刻のバックアップができなくなります。
- 使用電池はCR2032タイプです。交換した古い電池は、新しい電池を購入したお店に処分をご依頼していただくか、お住まいの地域ルールに基づいて処分してください。
- 上記の警告・注意に従わない場合など、誤ったご使用・分解・改造(ご購入後の塗装やデコレーションなどを含む)をされた際の事故、故障、破損等につきましては、当社では一切その責任は負いかねます。

-2-

液晶画面



1. 12Hに設定している場合、午前がAM、午後になるとPMのアイコンがそれぞれ表示されます。24H設定している場合は表示されません。
2. 標準電波受信状態になると電波レベルアイコンが左から右へ順に点灯します。正確な時間に補正された場合電波アイコンが翌日の0時まで表示し続けます。
3. 受信した標準電波の周波数です。
4. 標準電波を受信すると、自動設定されます。手動設定時には月日を入力すると自動設定されます。
5. 標準電波を受信すると自動設定されます。手動設定も可能です。12H表示と24H表示が選択できます。

製品仕様

受信電波	長波JJY(標準電波)
受信周波数	40kHz(福島長波局) / 60kHz(九州長波局)
電源	電池(CR2032×1個)
液晶表示内容	月 / 日 / 曜日 / 時 / 分 / 秒 / 受信電波局 / 電波状態
自動受信	1日4回(AM2:00、AM3:00、AM4:00、PM4:00)
時計性能誤差	60秒/月(標準電波を受信しない状態での性能誤差)

1. 時計のセッティング

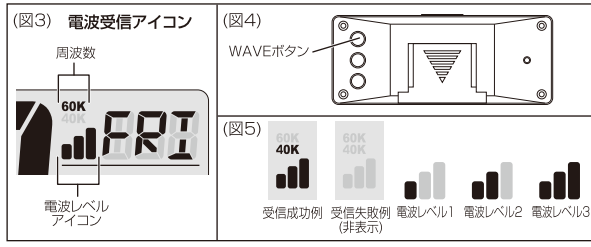
- お買い求めいただいた直後の状態では、時計は起動しておりません。使用できるようにするためのセッティングを以下の手順で行ってください。
- 付属のモニター用電池のプラス面を上にしてはめ込んでください。(「電池交換方法」を参照してください。)
- 付属の電池は「お試用」ですので、寿命が短い場合があります。
- 時計本体の電源が入り、液晶画面が全点灯した後、「初期設定は2010年1月1日、FRI、AM12:00」から時計が起動します。そして自動的に電波受信を開始します。
- 電波の受信には最大約16分かかります。詳しくは「2.標準電波の自動受信」を参照してください。
- 昼間は電波の受信が難しい環境です。受信に失敗した場合は、「4.手動時刻設定」を参照して時刻を合わせてください。



-4-

2.標準電波の自動受信

- 本製品は一日に4回(2:00/3:00/4:00/16:00)標準電波の自動受信を行い、時刻の補正を行います。その日の自動受信で一回受信に成功すれば翌日(2:00)まで自動受信は行いません。
 - まず60Kでの電波受信を行い、約8分間で受信しなかった場合、受信周波数が40Kに自動的に切り替わり、約8分間受信を試みて終了します。(図3)
 - 60Kの受信中にWAVEボタンを押すと、40Kの受信に切り替わります。(図4)
 - 40Kの受信中にWAVEボタンを押すと、電波受信を終了します。(図4)その際、アイコン表示は受信失敗時のものになります。(図5)
 - 受信が終了するまでWAVEボタンとバックライトボタン・RESETボタン以外は作動しません。電波受信中は電波受信周波数が表示され、受信状態を示す電波レベルアイコンが点滅します。
 - 電波受信中は、電波レベル(受信しやすさ)によって電波レベルアイコンの表示数が変わります。電波レベルが1~2のときは、受信しにくい環境ですので、受信環境を変えてみてください。(図5)
 - 電波受信が成功すると、電波受信アイコンと受信した周波数が液晶画面に表示され、標準時刻に補正されます。(図5)
 - 電波受信に失敗した場合、周波数アイコンと電波レベルアイコンは表示されません。(図5)
- ※電池を入れた直後の自動受信に失敗した場合は、必ず「4.手動時刻設定」を参照して時刻を合わせてください。



3.標準電波の強制受信

- 電波アイコンが表示されていない時などに、ボタン操作でいつでも標準電波を受信することができます。(電波送信所の定期保守実施時には電波送信が停止されます。その際は電波受信できません。詳しくは「日本標準時グループ」のホームページ <https://jij.nict.go.jp/> でご確認ください。)
 - WAVEボタンを約2秒間押し続けると、強制的に電波の受信を行います。電波受信中の表示・操作に関しては、「2.標準電波の自動受信」を参照してください。
 - 受信に成功すれば、翌日(AM2:00)まで自動受信は行いません。
- ※受信に失敗した場合、同じ環境で再度強制受信をしても受信を成功させることは困難です。「4.手動時刻設定」を参照して時刻を合わせるか、自動受信を待ってください。

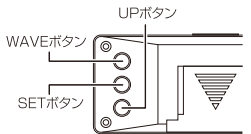
-5-

4.手動時刻設定

- ※電波受信中は手動時刻設定ができません。WAVEボタンを押して電波受信をアイコンを消して受信を中止してください。
- 電波の受信ができない場合や、購入後などですぐに時刻を合わせたい場合などは、手動で時刻を設定することができます。
- 数字はUPボタンで1ずつ進んでいきます。数字は1周ループしないと戻れませんのでご注意ください。(西暦は最大2099まで進んで、2010に戻ります。)
- 「年(西暦)」→「月」→「日」→「時」→「分」に順に設定していきます。「分」まで確定すると通常状態に戻り、時計がスタートします。

1 手動時刻設定のスタート

- 時計の手動時刻設定には、本体背面のSETボタンとUPボタンを使用します。
 - 本体背面のSETボタンを約2秒間押し続けてください。
- ※手動時刻設定中は、UPボタンを1回押すと数字が1つ繰り上がり、長押しすると連続で数字が繰り上がります。
- ※手動時刻設定中に何も操作せずに30秒経過すると、自動的に通常状態へ戻ります。設定した項目は記憶されます。



2 年(西暦)の設定

- 「年(西暦)」の4桁が点滅表示します。UPボタンを押して現在の「年(西暦)」に合わせてください。
- ※2099まで増加した後は、2010に戻ります。
- SETボタンを押すと確定します。



3 月の設定

- 「月」が点滅表示します。UPボタンを押して現在の「月」に合わせてください。
- SETボタンを押すと確定します。



4 日の設定

- 「日」が点滅表示します。UPボタンを押して現在の「日」に合わせてください。
- SETボタンを押すと確定します。



-6-

5 時の設定

- 「時」が点滅表示します。UPボタンを押して現在の「時」に合わせてください。(AMが午前、PMが午後です。)
- SETボタンを押すと確定します。



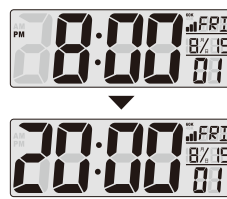
6 分の設定

- 「分」が点滅表示します。UPボタンを押して現在の「分」に合わせてください。(AMが午前、PMが午後です。)
- ※UPボタンを1回でも押すと、「秒」が00にリセットされます。
- SETボタンを押すと確定します。



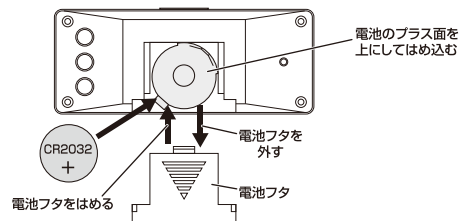
5.1 2H/24H表示切り替え方法

- 通常の現在時刻表示の状態ではUP/MODEボタンを押すと、12H/24Hの表示が切り替わります。
- ※電波受信中は表示の切り替えができません。WAVEボタンを押して受信を中止してください。



電池交換方法

- 電池交換の際は、時計本体背面の電池フタを押し下げて古い電池を外し、新しい電池(CR2032)をプラスを上側にして取り付け電池フタを戻してください。
- 使用電池はCR2032タイプです。交換した古い電池は、新しい電池を購入したお店に処分をご依頼していただくか、お住まいの地域ルールに基づいて処分してください。
- 電池交換後は、取扱説明書の「1.時計のセッティング」を見て時計をセットしてください。



トラブルシューティング(このような場合の対処法)

トラブル内容	対処法	補足
電波を受信しない	24時間そのままにしておく	自動受信する時間帯が最も電波を受信しやすい環境です。手動で時刻設定した後、24時間そのままにして自動受信させてください。
	受信環境を変えて受信をやり直す	受信場所などを変えて、強制受信させてください。もしくは手動で時刻設定した後、受信場所などを変えて24時間そのままにして自動受信させてください。
新しい電池を入れても画面が表示されない	リセットする	本体背面のRESETボタンを、先端の細いもので押して、時計を初期化してください。
	電池を入れなおす	一度電池を取り外して、電池の向きを確認して再度電池を入れてください。
電波受信が成功しているにも関わらず時刻表示が時報と合わない	リセットする	静電気などにより、内蔵しているマイコンが誤作動し、時刻違いなどが発生する場合があります。本体背面のRESETボタンを、先端の細いもので押して、時計を初期化してください。
時計は表示されているがバックライトが点灯しない	新しい電池に取り替える	電池残量が少なくなると、時刻は表示されてもバックライトが点灯しなくなる場合があります。お早めに新しい電池に取り替えてください。

製品に関するお問い合わせは

☎0570(039)710

受付時間/AM10:00~PM5:30 月~金曜日(祝日休業)
〒273-0016 千葉県船橋市潮見町6-1

株式会社 **セイワ**
<https://www.seiwa-c.co.jp>
〒134-0092 東京都江戸川区一之江町3000番地

-7-

-8-